

67 成長による体型の変化と服のシルエット

(第5報)

山口大学教育 中野トモエ

1 洋服の発生は源を洋の向うにもち、明治初年から日本にとり入れられたものであるにもかかわらず今日では世界服となり、各民族服を度外視して世界中の人間が着用するようになった。本研究は移入された洋服特に女子服について、各年齢層の基本的なシルエットを注出せんとして、各角度から検討を加えたものである。

2 I 中学校女子生徒の身体各部の測定

- (1) 1, 2, 3 年女生徒の各部位長さの計測
- (2) 1, 2, 3 年女生徒の各部位長さの増加
- (3) 1, 2, 3 年女生徒の各部位長さ増加の比較
- (4) 中学校女生徒の身体各部丸みの計測
- (5) 13~15 歳各部位丸みの増減
- (6) 13~15 歳各部位丸みの増減の比較
- (7) 13~15 歳の前後左右径
- (8) 13~15 歳の側面形態の変化
- (9) 13~15 歳の上から見た頭部胸部の形態の変化
- (10) 空腹時と満腹時の腹囲差の測定

II 中学校女子生徒の体型の変化と服のシルエット

3 女子各年齢期の人体測定により、思い設けぬ正しい成長と充実、外郭の変化を認識、理解した。更に洋服の各年齢期の基本型の根源を少しずつ究明し得た。

女子服のシルエットについては、史的考察も加えているが、本研究では現代のシルエットに関して発表する。